

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.246)

1. 豊田市PCB処理安全監視委員会が北九州事業所を視察

9月6日に、「豊田市PCB処理安全監視委員会」(委員長:松田仁樹 名古屋大学名誉教授)が、当社の北九州PCB処理事業所を訪問されました。なお、環境省にも同席いただきました。

委員会活動の参考にするため、豊田事業所より先行して施設の解体撤去を進めている北九州事業所で、安全な解体方法などの知見を得ようと11名の皆様に熱心に視察いただきました。

北九州事業所は、コンデンサーや変圧器類のPCB廃棄物を処理した第1期処理施設と、安定器などのPCB廃棄物を処理した第2期処理施設で構成されています。

第1期処理施設は、建屋内のプラント設備の撤去が全て完了し、現在、建築物の解体に向けて、建物のPCB除去分別作業を進めています。

まず、北九州事業所から、これまでの先行解体工事の様子やPCB付着状況調査、配管やタンク類の液抜きと洗浄、プラント設備のPCB除去分別と本解体工事などの状況をスライドや動画を使って説明しました。



併せて、解体撤去工事中の作業環境や排気中のPCB濃度等の測定結果、労働安全衛生の確保や安全施工の体制整備などについて説明しました。

その後、第1期処理施設と第2期処理施設を見学者通路から、解体撤去の進捗状況などをパネルや施設内を見ることが出来るモニターも使いながらご覧いただきました。

最後に質疑応答が行われ、委員からは活発なご質問をいただくなど、とても熱心に視察していただきました。例えば、解体撤去工事の業者の選定方法のご質問をいただきました。当社は国の特殊会社のため、公共工事として入札を基本としていること、参加を希望する業者は国の入札参加資格が必要なこと、更に、規模の大きな工事は入札の際に技術提案方式で選定したことを答えました。

また、解体撤去工事で作業手順に変更が生じる場合の対応のご質問をいただきました。解体撤去工事でも安全を最優先に実施しており、毎日の朝会と夕会、週例会、月間工程会議で常にJESCOと工事業者は密な連携を取ること、施工管理では必要となる手続きを必ず行うなどして安全第一で工事を進めていることを答えました。

2. 総合防災訓練を実施しました

8月30日、台風10号の接近を受け、火災想定
の総合防災訓練を規模を縮小して実施しま
した。

処理棟6階分析室で有機溶剤に引火、火災
の発生に伴い自動火災報知設備(防災監視
盤)が発報した想定です。火災発生確定放
送を合図に、事業所従業員はじめ解体撤去
業者にも、避難場所とした管理棟のプレゼ
ンルームへの迅速な避難が指示されました。



(プレゼンルームへの避難)



(避難完了の報告)

避難場所で速やかに各部署責任者による人
員点呼を行い、避難対象者全員の安全を確
認後、副本部長から対策本部長へ対象者全
員の退避完了を報告しました。

当初の計画では、屋外ピロティへの避難や全
員参加の水消火器訓練、屋外消火栓を使っ
た放水操練の実施を計画していましたが、台
風の影響で中止しました。今回できなかった
これらの訓練は、次回の総合防災訓練での
実施を予定しています。

3. 環境報告書2024を発行しました

JESCO環境報告書2024

JESCOでは、昨年度の事業活動に係る環境配慮等の状況をとりとめた「環境報告書2024」を9月24日に公表しました。

この環境報告書には、当社の基本理念や行動指針、循環型社会形成への取組をはじめ、PCB処理事業の処理実績にかかる各種データ、各事業所の環境モニタリングの結果なども記載しています。また、トピックスとして「2023年度末 西日本(北九州・大阪・豊田事業所)のPCB廃棄物処理終了」について紹介しています。



詳しくは、右のQRコード、または以下のURLからご覧ください、

<https://www.jesconet.co.jp/company/environment/envirorep.html#anchor01>



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

